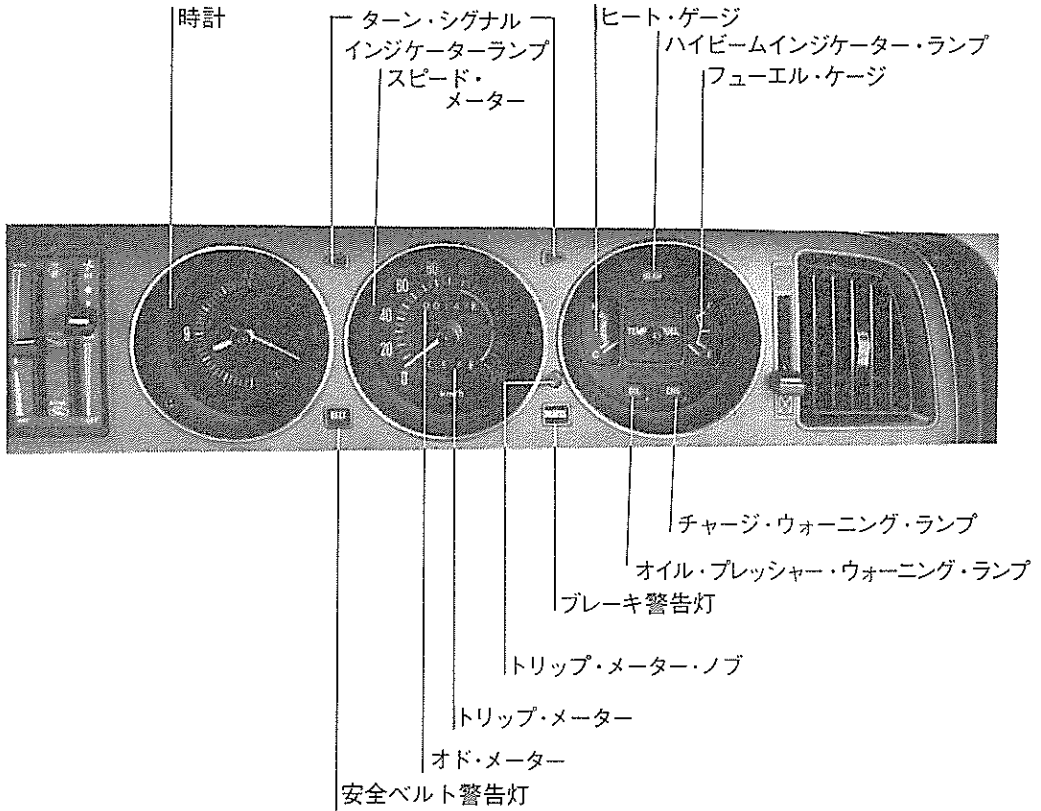


補 機 —メ — ター

1. メータ関係

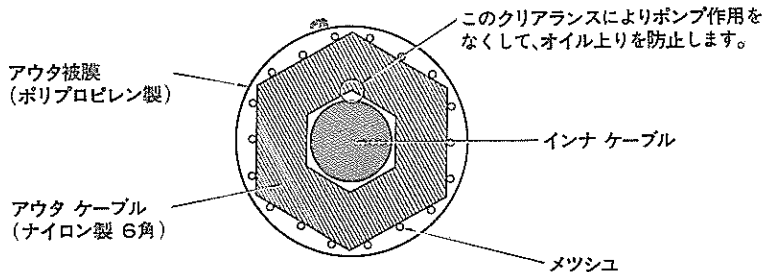
(1) 従来の角型3眼メータを全てハード トップ系と同じ丸型3眼メータに変更しました。



第44図 メータ パネル

スピードメータ警告色を100km/h 以上はすべてイエローゾーンとしました。

(2) スピードメータ ケーブルはアウト ケーブルをナイロン製6角ケーブルにし、異音防止を計るとともに、アウト被膜をポリプロピレン製にして急な曲りをつくらないようにして指針振れを防止しました。



第45図 スピードメータ ケーブル断面図

S 5634

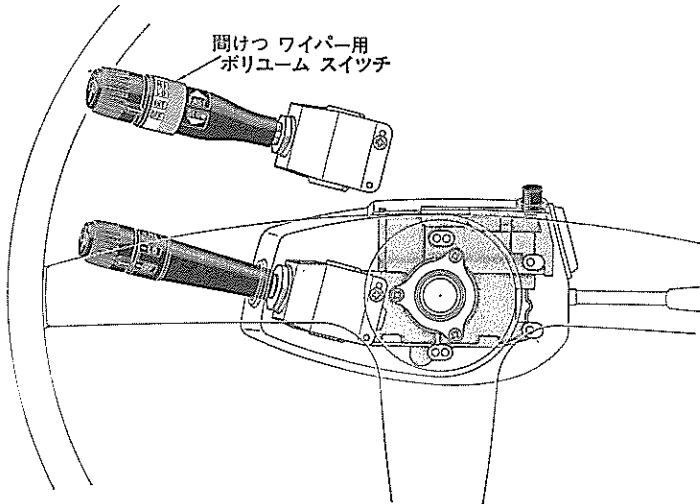
補 機 — ス イ ツ チ —

2. スイッチ類

操作性を改善して、走行中の安全を確保しました。

(1) ワイパ&ウオツシャ スイッチ

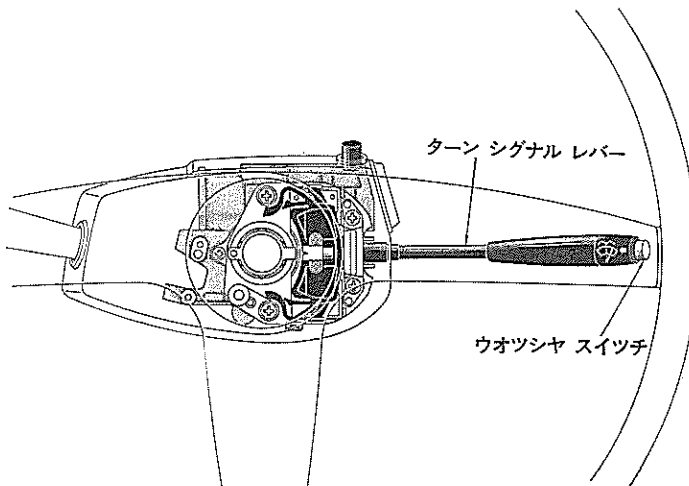
フロア シフト車はステアリング ポストにワイパー&ウオツシャ スイッチ を取付けて操作性を向上しました。



第46図 ワイパ スイッチ-1

S 5635

コラム シフト車はターン シグナル スイッチ レバーの先端にウオツシャ スイッチ を取付けました。計器板には従来通りワイパー&ウオツシャ スイッチ が取付けてあります。

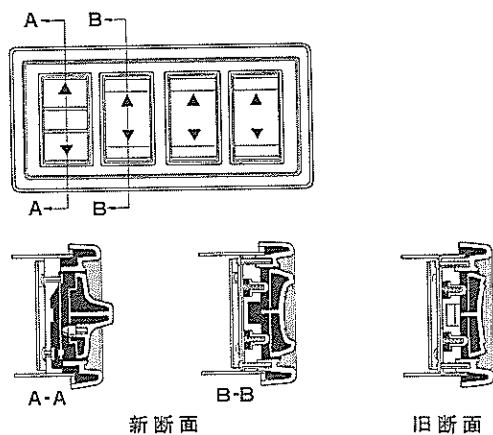


第47図 ワイパ スイッチ-2

S 5636

(2) パワー ウインド スイッチ

操作性向上のためスイッチの形状を変更しました。

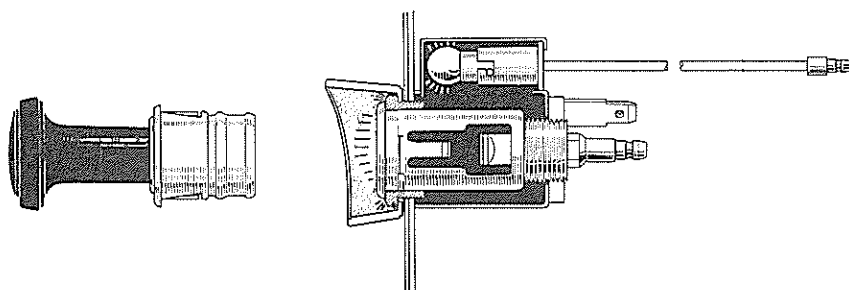


第48図 パワー ウインド スイッチ

S 5637

(3) シガレット ライタ

シガレット ライタ差込部に照明用リングを追加して夜間の使用性を向上しました。

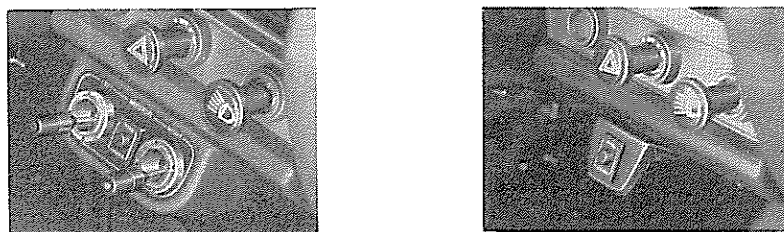


第49図 シガレット ライタ

S 5638

(4) トランク オプナー

セダン ハードトップ系全車にトランク オプナーを装着し、操作性を向上しました。



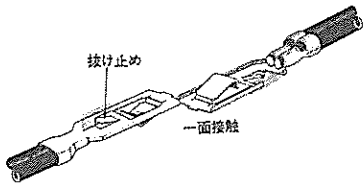
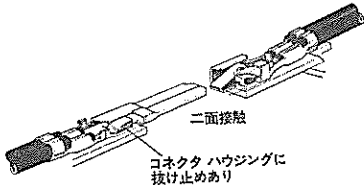
第50図 トランク オプナー スイッチ

3. ワイヤ ハーネス

(1) コネクタ

ワイヤ ハーネス関係ではコネクタ 類の信頼性を大巾に向上させるため、重要な部位の
コネクタを、ATコネクタからTODCコネクタに変更しました。

TODCコネクタは、結合状態での信頼性はATコネクタと同じですが、小さな力で完全
に差し込みができるので、多極化した大型コネクタの組付上の信頼性を向上させることが
できます。

	ATコネクタ	TODCコネクタ
形 状		
端子材質	黄銅+Snメッキ	←
使用部位の変更 A.T.→T.O.D.C.	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザード S/W×インストルメント パネル ハーネス ○ ワイパ S/W × インストルメント パネル ハーネス ○ フルトランジスタ……デストリビュータ × イグナイタ ○ ESC ………コンピュータ × パワー アンプ シヤシーハーネス × フロント ハーネス ○ フロント ハーネス × インストルメント パネル ハーネス 30極のコネクタを38極にしました。	

その他イグニッション スイッチ、ヒューズ ボックスのコネクタをロック付に変更しまし
た。

S 5639

(2) ヒューズ ボックス

S 5640

カバーに日本語を入れました。

TAIL テールランプ	—15A
STOP ストップランプ・ブレーキ	—20A
LIGHTER ライター・ルームランプ	—15A
RADIO ラジオ	—15A
HEATER ヒーターメータ	—20A
TURN ターンシグナル・ワイパー	—15A
ENGINE エンジン	—15A
SPARE スペア	—20A

第51図 ヒューズ ボックス

S 5641

補 機 —テープ プレーヤー

4. テープ プレーヤー

カセット式テープ プレーヤーを全車にメーカ オプションとして設定しました。

今回採用されたものにはAM/FMマルチ ラジオ用の無肺式と、その他のラジオ用の片肺式があります。(無肺式と片肺式間の互換性はない)

(註) 肺とはアンプのことを意味し無肺式とはアンプ無し、片肺式とはアンプを1個内臓しているタイプを表わします、AM/FMマルチ ラジオにはステレオ放送用にすでにアンプが2個内臓されているため、無肺式でもステレオ再成ができます。

特 長

- ① 再生が容易である。(モノラルにした場合は特に容易である。)
- ② テープが完全に規格化されており、入手が容易である。
- ③ テープがコンパクトであり収納が容易である。
- ④ テープが安価である。
- ⑤ テープヘッドの汚れが少ない。

8トラックの場合は、テープを直接駆動用ローラで接触抵抗により回します。
そのためテープには、接触抵抗を大きくするように薬品が塗布されていますがこれがテープヘッドについて汚れやすい傾向があります。
カセットテープはリール駆動のため、薬品も塗布されていません。

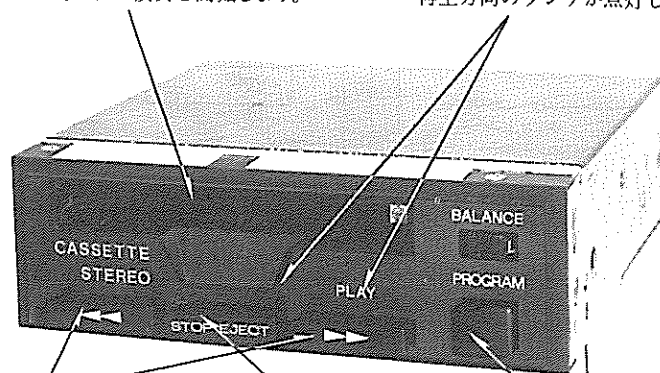
- ⑥ モノラル録音したカセットテープも使用できる。

① カセットテープ挿入口

テープを挿入すると、ラジオの受信に関係なく、自動的に電源が入り演奏を開始します。

② PLAYランプ(◀または▶)

テープ再生(走行)方向を示すランプで再生方向のランプが点灯します。



⑤ 早送り、巻戻しボタン

矢印(◀または▶)の方向に早送り巻戻しができます。自動車のため、このボタンは1度押すと、ロックして早送り、巻戻しを継続します。
早送り、巻戻しがテープの最後まで行くと、PLAYランプの◀と▶の両方が点灯します。
途中で早送りまたは巻戻し操作を解除したいときは、STOP·EJECTボタンを軽く押します。

③ PROGRAMボタン

テープ再生方向の切替えを行ないます。

④ STOP·EJECTボタン

ボタンを強く押すとテーププレーヤーの電源は切れ、テープが飛び出します。
この時ラジオ電源がONであれば自動的にラジオ放送に切替ります。
早送りや巻戻し操作解除にもこのボタンを使用します。この時は軽く押す操作です。

補 機 —ターン シグナル—

5. ターン シグナル関係

ターン シグナル システムを変更し、サイド ターン シグナル ランプ断線の場合に、前後のランプは点滅回数が減って作動するようにし安全性を向上しました。

(従来はサイド ターン シグナル ランプ断線の場合にも点灯しつ放し)

ターン シグナル システムの変更

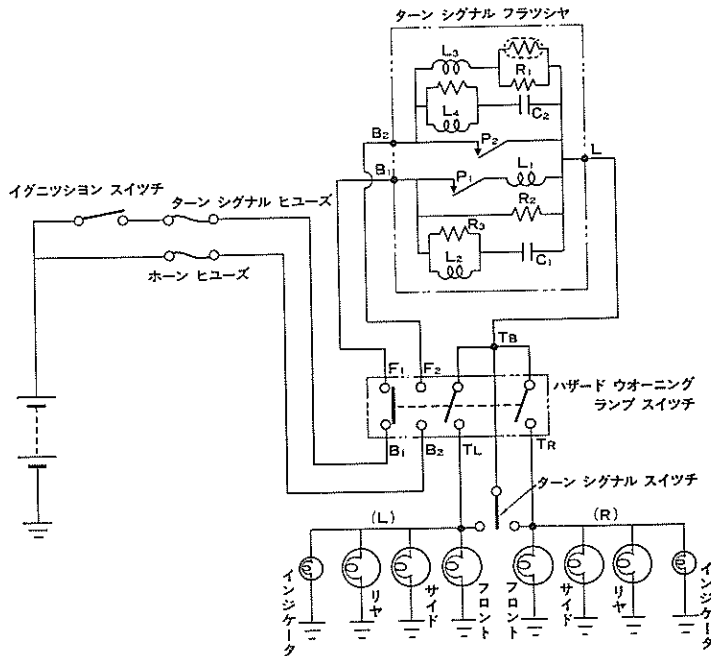
		旧	新
リ	レ	ターン シグナル、ハザード 1 体式電圧型 リレー & サイド ターン シグナル リレー	ターン シグナル電流型リレー、ハザード 電圧型リレー 1 体式 <small>註 1</small> <small>註 2</small>
作 助	ターン シグナル ランプ 一灯以上の断線	点灯しつばなし	←
	サイド ターン シグナル ランプ一灯以上の断線	点灯しつばなし	点滅回数の減少
	インジケータ ランプの 断線	点滅回数変化なし	←

註 1 電流型リレー

図の様にポイント P₁ とポイントを ON, OF するコイル L₁ が回路に直列に入っているリレー

註 2 電圧型リレー

図の様にポイント P₂ でポイントを ON, OF するコイル L₃ が並列になつているリレー



第52図 ターン シグナル回路図

S 5547

補 機 —ターン シグナル—

作 動

ターン シグナル リレー

正常時

- ① ターン シグナル S/W を ON にすると、電流は $B_1 \rightarrow P_1 \rightarrow L_1 \rightarrow$ ランプ \rightarrow アースと流れランプは点灯します。電流が L_1 に流れると同時に $B_1 \rightarrow L_2 \rightarrow C_1$ にも流れます。この時 L_1 の P_1 を開こうとする磁力と L_2 の閉じようとする磁力がバランスして P_1 は閉じたままになります。
- ② C_1 が満充電になると L_2 磁力がなくなり L_1 の磁力だけとなつて L_1 の磁力により P_1 は開きランプは消灯します。
- ③ P_1 が開くと $C_1 \rightarrow L_2 \rightarrow R_2$ の閉回路に C_1 の放電電流が流れます。この電流によつて L_2 に P_1 を開こうとする磁力が発生し P_1 は開いたままになります。
- ④ C_1 が放電しつくすと L_2 の磁力がなくなり P_1 は再び閉じた状態にもどります。上記の①～④をくり返し点滅します。

前後のターン シグナル ランプ 1 灯以上断線の場合

1 灯断線の場合にも、電流は $B_1 \rightarrow P_1 \rightarrow L_1 \rightarrow L \rightarrow$ ランプ \rightarrow アースと流れますが、ランプ負荷が正常時より少ないため L_1 には P_1 を開くだけの電流が流れず、ランプは点灯し放しとなります。

サイド ターン シグナル ランプ断線の場合

正常時の様に①～④をくり返しますが、ランプ負荷が正常時よりも小さいため L_1, L_2 の負荷特性が変わり点滅回数は正常時より減少します。

ハザード リレー

- ① ハザード S/W を ON にすると電流は $B_2 \rightarrow L_3 \rightarrow R_1 \rightarrow L \rightarrow$ ランプ \rightarrow アースと流れ、同時に $B_2 \rightarrow L_4 \rightarrow C_2$ に流れます。このとき L_3 のポイント P_2 を閉じようとする磁力と L_4 の開こうとする磁力がバランスして、 P_2 は開いたままになります。
- ② コンデンサ C_2 が満充電となると L_4 の磁力がなくなり L_3 の磁力によつて P_2 が閉じます。この時ランプが点灯します。
- ③ P_2 が閉じると L_3 には電流がほとんど流れず L_3 の磁力はなくなりますが、かわりに C_2 の放電電流によつて L_4 に P_2 を閉じようとする磁力が発生し P_2 は閉じたままになります。
- ④ C_2 の放電が終わると L_4 の磁力がなくなり P_2 は再び開きます。上記①～④をくり返し点滅します。

